



和歯衛だより

発行/一般社団法人
和歌山県歯科衛生士会
事務局 〒640-8287
和歌山市築港1丁目4の7
電話073-499-8297

謹賀新年



2022年

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様また関係各機関の皆様におかれましては、平素より本会運営にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ご自身の「歯科衛生士」という専門職について、どのように考えていらっしゃいますか？

近年、どの医療職においても特定の内容を深く学び、ライセンスを取得する認定制度が増加しています。

歯科衛生士も日本歯科衛生士会や関連学会において「認定歯科衛生士制度」があります。

和歌山県歯科衛生士会にも認定を持った歯科衛生士が在籍しています。医療や介護の現場において、口腔ケア（歯みがきや清拭）は日常的に行われています。

しかし、誤嚥性肺炎を繰り返す方や終末期のお口のケアは、エビデンスに基づく「口腔健康管理」ができる歯科衛生士の専門的知識と技術が必要です。

卒後、自身で専門学会や研修会に参加し、研鑽を積んでいかないと、年々変化していく情報や環境の変化をとらえることができません。

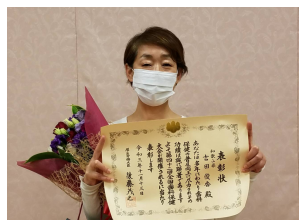
現在、インターネットをはじめとするメディアには、歯科に関する情報がたくさん掲載されています。どの情報が正しいのか、またその情報が新しいものなのか見極める知識のアップデートが必要になっていると感じます。

新型コロナウイルス蔓延がきっかけとなり、本会もオンラインによる研修会を開催しており、今後も継続する予定です。学術担当が会員の皆様のさらなる専門性を高めるための研修会を企画してくれています。ご自宅からも気軽に参加できます。たくさんご参加いただき、和歌山県歯科衛生士会の歯科衛生士は「スーパー歯科専門職」と胸を張って言える団体になっていきたいと考えております。

また、和歌山県で勤務する全ての歯科衛生士の入会意欲を高められる会となるように執行部一同、企画運営していきたいと考えておりますので、皆さまもどうかご協力いただけますようお願い申し上げます。最後になりましたが、本年も皆さまのご健康とご多幸、さらなる活躍を祈念いたします。

2022年1月吉日 山下 千穂

令和3年度 歯科保健事業功労者厚生労働大臣表彰



令和3年11月に開催された全国歯科保健大会において厚生労働大臣表彰を賜りました。

このような名誉ある賞を頂き、理事の皆様、並び会員の皆様に感謝申し上げます。

私が歯科衛生士になった時代は、昭和の教育を受け歯石除去をメインで行っていた時代でした。その後、歯周病と全身疾患との関わり、口腔内の疾病も多岐にわたるようになり、歯科衛生士は「見て・考える・守る」となり、役割は大いに変わってきたことを感じています。私自身は、歯科衛生士となった頃は、すぐに辞めようと思っていました。しかし年々、ここを！ここが！知りたい！と、興味がつくことの無い面白い仕事だと気づかされました。しかし、このように思えるのは長く歯科衛生士を続けたことも大きな要因です。長く続けるためには、自分自身も健康で楽しみを見つけることも大切ですが、やはり横の繋がりが一つのポイントです。憧れの先輩、親しみやすい後輩、一緒に研鑽できる仲間がいてこそです。私には、いつも和歌山県歯科衛生士会の会員の皆様が身近にいてくださいました。今日の私が笑顔で仕事を続けてこれたのも皆様のおかげです。

本当にありがとうございました。

これからも、一緒に憧れの人目指して頑張りましょう。 吉田俊香



衛生分野功労に和歌山県知事感謝状

この度、県知事功労賞を頂き、ありがとうございました。これからも和歌山県の保健衛生に貢献出来るよう、ますます頑張りたいと思います。 田村由希子

和歌山県歯科衛生士専門学校 募金活動 ご協力の御礼

和歌山県歯科衛生士専門学校文化祭のバザーや模擬店で得た収益は、毎年、和歌山県福祉保健部障害福祉課を通じて県内の障害児者施設に寄付をされています。

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により文化祭を開催することができませんでした。

そこで、皆さまに募金活動のご協力をお願いしましたところ、たくさんの温かいご寄付をいただくことができました。

お預かりいたしました寄付金は、11月2日に和歌山県歯科衛生士専門学校

にお届けさせていただきました。

この場をお借りいたしまして、金額のご報告と心より御礼申し上げます。

寄付金額合計 14,931円

内訳：

障害者センター 9,431円

振り込み 3,000円

学校へのお届け 2,500円



わたしのハマっていること,わたしの同期DH

☆ザ・園芸☆瓦間由美さん



バラに憧れて始まった園芸ライフ。30才で家を建てた時から始まり、はや18年。
毎年春には家の周りを花でいっぱいになります。
(2021年は、とある一角を煉獄杏寿郎をイメージしてみました。笑)
春から夏にかけて、椿→水仙→チューリップ→バラ→あじさい→ペチュニア……と、
次々に花が咲き、楽しめます。
切り花にして、玄関や洗面所に飾ったりもして楽しんでいます。
そして秋冬は作業の季節です。
(草引き、剪定、肥料のすき込み、球根や一年草の植え付け……などなど)
今まさに休日の過ごし方がコレです。頭の中は、来春のお花のことについていっぱいです。



結果にコミット,フィットネス: 岩橋真弓さん

2021年のお正月に一念発起してSwitch本体とリングフィットアドベンチャーのソフトを購入。ほぼ毎朝、出勤前の30分程度ですが、休まず続けています。
元々、腹筋が1回も出来ない位体幹の筋肉が無かった私は、
仕事で気を付けてはいるものの良い姿勢がキープ出来ず、
首にも肩にも負担が掛かり、夕方にはバキバキ音が鳴る程で、
なんとかしないとマズイなあ。。。と感じていました。
ですが、コロナ禍でスポーツジムに通う勇気もありませんし、
そもそもそんな時間もお金もありません。

どうしたものかと思いつきながらお正月にコタツでゴロゴロしていた時に目に飛び込んで来たのがガッキーのTVCMです。
家で、好きな時間に出来て、ジムに通い続けるよりはコスパも良いかも、と。思い立ったが吉日！翌日、早速おもちや屋さんへ走り出しました。

投資してしまったので、もうやるしかありません。

高校のマラソン大会を最後に運動とは無縁の生活を送ってきたアラフォーなのに、気持ちだけは若いままの私。初めからいきなり負荷を上げすぎて最初の2週間で膝を痛めてしまいました。息切れと筋肉痛もひどく、何度も挫折しそうになりましたが、サボると余計休み明けがキツいので、
膝に負荷が掛からないメニューを選んで頑張りました。

すると、トレーニングを続けるうちに徐々に体幹も出てきたのか仕事でも良い姿勢をキープ出来るようになり、
疲れにくくなっていました。

他にもメリットがいくつかあり、まず体を動かすとストレス発散になります！

それにプラスして、いつの間にか体重が3キロ減っていたのも嬉しいオマケでした。リングフィットアドベンチャー、楽しいですよ～。

オススメです！



多肉植物: 米田 綾さん



コロナ禍でお家時間が増え、何か趣味にならないかと模索中。

SNSのおかげで、小学生からの友人と再会して、
彼女の趣味を鑑賞中。

苗を分けてもらったり、育て方を教えてもらったり。まだまだ、枯らしてしまったりの初心者ですが、可愛い多肉植物に癒されています。



わたしの同期を紹介します: 池上比菜さん

名前は「坂下ひろい」ちゃんです!!!

ひろいちゃんとは、中学校が同じでした。

卒業後はバラバラになりましたが、

歯科衛生士の専門学校で

5年ぶりに再会しました! めっちゃ偶然でびっくり!

私達は高校を卒業して一年間

歯科医院で働いてから

専門学校に入学したので同期のほとんどは歳下になります。

だから、入学前は不安でいっぱいだったので

再会した時は、お互い喜び合いました。

専門学校卒業後も一緒に歯科衛生士会に入って

障害者センター・急患センターへ出務したりずっと私の相棒でした

そんな相棒がこの冬海外留学へ行ってしまいました。

出発前日も会うぐらい寂しくて仕方ないけど

ひろいちゃんが自分の世界を広げてる姿をみて

2022年は歯科衛生士4年目

私も何か新しい事にチャレンジしてみよう

と思いました!

成長して再会できる様に

しっかり頑張りたいと思います。



Brayの町をご紹介します：坂下裕唯さん



令和3年10月3日に発生した六十谷水管橋の破損に伴う断水や濁り水により、節水生活を経験した皆様からたいへん参考になるお話をうかがいました。

おすすめアイテム

コック付きのポリタンクが便利であるという意見が多く、コックが収納できるタイプの物もある様です。

すぐに手に入らなかったという方はペットボトルで工夫されています。

20リットルのタンクは重いので10リットルタンクの方が使いやすかった（平松有美子さん）

給水し、運搬するのに重くて大変でした。車から下すのは家族に頼みました。高齢者だと本当に大変だと思う

（米田綾さん）



子どもが小さいときに使用した。キャンプグッズが役に立ちました。（北野美恵子さん）

100均の園芸用品コーナーにあるペットボトルシャワー、上がパカッと開いて水を注ぎ込みます。お風呂に入れないとき、手洗いの時、水の節水になるので重宝しました（岩橋真弓さん）

同じものを使いました。ぬるま湯を入れて洗髪をしましたが、ぬるま湯でもペットボトルが変形し、テンションが下がりました。私の洗身、洗髪にはペットボトル2リットル×4本必要でした。便利でしたので防災ボックスにも入れました（山東理沙）



洗い物ができないので、紙皿、紙コップ、割りばし等を使用しました。紙皿にはラップを敷いて、再利用しました。

（小園歩さん）

紙皿は役に立ちました。しかし、ラップが破れて紙皿も汚れる事があり、結局廃棄することがありました。プラスチックスプーンはレトルトカレーを食べるときに便利でしたが、フォークは箸で代用できるので無くても大丈夫（岩橋真弓さん）

お皿の不要な冷凍食品が大活躍でした。でもこれは電気やガスが使用可能だからできることです。今回は水だけで良かったと思う。元々料理は苦手なので、断水期間＝手料理ゼロ期間でした。その分出費も多く、災害時は現金も必要だと感じた（山東理沙）



ビニールタイプの給水タンク

ネットで慌てて購入しましたが、耐久性が悪く3回ぐらいで破れた物もありました（米田綾さん）

一週間の断水を経験して

私は今、アイルランドのブレイという町に住んでいます。アイルランドと聞いて、そこ何処～？と思う方がいるかもしれません。アイルランドは北西ヨーロッパに位置する、イギリスの隣の島国です。

私が生活しているブレイという町は、首都ダブリンから電車で約40分程のところにあります。海と山に囲まれ、自然豊ですごく素敵なところなんです。

私はここで英語を学んでいます。英語を学ぶ理由は、シンプルに英語が好きで、世界中の人々と英語でコミュニケーションをとることができれば自分の世界がもっと広がると思ったからです。

新しい土地、新しい人々、新しい言語、まさに everything is new ですごく新鮮です。

もちろん歯科衛生士としての仕事は大好きなので、将来は英語も話せる歯科衛生士として、人々の役に立つことが今後の目標です！

災害時の節水に！

※出典：画像：警視庁HP 災害対策課「ペットボトルで作る簡易蛇口」より

ペットボトルで作る 簡易蛇口

1

ペットボトルの下部に直径2～3mmほどの穴を開けます



2

穴を指で押さえながらペットボトルに水を入れ、キャップを閉めてふたをします（ふたをしたら指を離しても水は漏れない）



3

ペットボトルを台などの上に置き、キャップを握ると穴から適量の水が出るので、手が洗えます



4

再びキャップを閉めれば水が止まります。使用しないときは、穴を上に向けてペットボトルを横にすれば、完全に水漏れを防ぐことができます



ドライシャンプー（水の要らないシャンプー）
マウスリンス（液体ハミガキ）必須
水が少ないなか、わりと水のいる行為が洗髪と歯磨きやと痛感しました！

（吉田俊香さん）

洗濯物を減らすのに、ペーパータオルも便利でした。

ドライシャンプーも、やらないよりはだいぶさっぱりしました（岩橋真弓さん）

液体ハミガキは辛～い！でもキャップ1杯で爽快感が得られた（山東理沙）



診療は水差しを3wayの代わりに、タンク付きの超音波スケーラーや往診用エンジン等を活用。ヨシダのチェアーは外付けタンクをつけて通常通り診療しました。うがいの水はペットボトルの水を使用（西村倫美さん）

ちょっと 残念だったアイテム

電源不要のアウトドアシャワーですが、真空状態にするためにポンプで圧をかけるとポリタンクのパッキンが切れて、結局1回も使用できなかった（山東理沙）



日本歯科衛生士会 「令和3年度災害歯科保健歯科衛生士フォーラム」が開催されました

日時：令和3年12月5日（日）9：30～12：30 13：20～15：30

場所：Zoomを使用したオンライン形式

このフォーラムの目的は、大規模災害発生時に備え、都道府県歯科衛生士会において災害対応の組織作りを担当する「災害歯科保健コーディネーター歯科衛生士」および連絡調整窓口として対応する「災害歯科保健業務調整（ロジティクス）歯科衛生士」の育成である。

研修内容①「日本栄養士会災害支援チームの栄養・食生活支援活動と研修システムについて」

講師：公益社団法人 日本栄養士会 専務理事 下浦 佳幸 氏

実際の災害時の栄養・食生活支援の活動の体験をもとに、日頃から自分たちの団体への教育やシステム作り、シュミレーション訓練の大切さについて話された。

実際の取り組みでは、集団アプローチ（避難所）と要配慮者（災害弱者）の個別ケアを紹介いただいた。集団アプローチでは、数の問題、個別ケアでは、乳児用ミルク・アレルギー食・嚥下困難食・〇〇制限食などの準備も必要である。

災害の場面では、行政や多職種との連携が必須であるが、個人や様々な団体が存在すると混乱が生じるため訓練した者の団体で対応することがベストである。平時からの繋がりを持つておくことが大切。また、避難所等から撤退する時期の見極めが難しく、早くても遅くてもダメ。そのためには行政と撤退のタイミングを話し合うこと、また撤退時は避難所に「撤退のお知らせ」（張り紙など）をしておくことも大切であると話されました。また、リーダーは、個と全体との「間」を考慮しながら活動することが必要、隙間を繋ぎ合わせる役割である。

キーワードは、「連携・繋ぐ（自立援助）」である。

最後に話されたリーダーとメンバーの関係①「優秀なリーダーと劣ったメンバー」②「劣ったリーダーと劣ったメンバー」③「劣ったリーダーと優秀なメンバー」のうちは早く組織が崩壊するのは③であるが心に残る講義であり、研鑽を積んでいきたいと感じた。

研修内容②「平成29年九州北部豪雨災害における歯科保健医療支援活動の舞台裏」

講師：福岡県歯科医師会 太田 秀人 氏

災害発生からの福岡県歯科医師会の支援活動の動きを時系列にご紹介いただいた。

ここでも平時からの育成と連携が必須であるとおっしゃっていた。そのためには、日常から災害図上訓練（DIG）にて疑似体験をしたり、日頃から多職種と「携帯番号を知っている関係作り」が災害発生時迅速活動に繋がると話された。

実際の活動紹介では、①被災地の歯科医師会会長に現地情報を聞き取り②先遣隊が被災自治体と保健師に同行し全体迅速アセスメント、必要な支援を把握する③自治体に歯科として活動方針を提案④本隊の派遣（フェーズに応じた「口腔機能保健チーム」を心がける）⑤撤退と引継ぎを詳しくご紹介いただいた。また、治療やアセスメントの前には必ず、「CSCATTT」の考えと「支援の目的」「ゴール」を決めて「歯科支援チームの役割」を共有することが大切であると話されました。

*CSCATTTについて

C：Command&control 指揮系統確立と調整 S：Safety 安全確保 C：Communication 情報伝達

A：Assessment 迅速評価 T：Triage トリアージ T：Treatment 治療 T：Transportation 撤退

研修内容③都道府県歯科衛生士会の取り組み 報告

「新潟県歯科衛生士会」

新潟県中越沖地震の経験から災害に備えた組織の取り組みについて発表

「和歌山県歯科衛生士会」

防災活動の紹介と災害に備えた組織の取り組みについて発表

研修内容④ブロック別グループワーク「災害時のマネジメントに必要な活動～ロジの役割～」

仮設定で①歯科衛生士会でロジとしてする事②他団体との連携③普段の備えについて討議した

全体を通して、普段からの準備として「多職種連携」「安否確認方法」「研修会の開催」「災害派遣時のグッズ等の保管場所の確認」「アセスメントシート、物資配送リスト、などを原本で保管」「アクションカードの和歌山県歯科衛生士会版の準備」「シフト日程調整に関する事（お願い文章、エクセル等で作るシフト表）」まだまだ準備しておくことがあると感じた研修でした。

報告者：山下 千穂

和歌山県歯科衛生士会：災害時連絡LINEの活用について



災害時等の緊急連絡時に備えた緊急連絡体制を構築するため、LINEアプリを活用しています。

和歌山県歯科衛生士会会員の安否確認、居住地周辺の被害状況を把握することを目的とし、1グループ約10～13人に設定して現在、9つのグループを作成しています。災害に備えた組織づくりにご理解と、ご協力をお願いします。

※LINEを使用されていない方には、メールや電話で連絡致します

令和3年度和歌山県認知症キャラバン・メイト養成研修に参加して

日時：令和3年12月13日（月）10:00～12:20 講義 12:20～17:00 グループワーク

場所：和歌山県勤労福祉会館プラザホープ 4階ホール

認知症キャラバン・メイトとは？

認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）を基本に「サポーターに伝える内容について学習する」「認知症とはどういう病気なのか、認知症や介護している人をどう支援したらよいか理解すること」を地域に広げ、適切な相談窓口につなぐ役割が認知症キャラバン・メイトです。

認知症と聞いて、多くの人は「なったらどうしよう」「なりたくない」と不安なことばかり思い浮かぶことが多いと思います。しかし、ここでの考えは、認知症になっても困らない安心して暮らせる地域社会です。受講するサポーターに伝える内容は、その部分に重点を置いて話し、「認知症でも安心して暮らせるね。」といえる講座の講師になる必要があります。講座の中では、自身や周りの経験話を交えながら、「脳の病気で誰でも認知症になりえること」「行動や心理症状は何か原因がありしている」「当事者の不安や苛立ちがあること」「周りの人の関わりが大切であること」「認知症になってもできることがある、わかることがある」にポイントを置いて伝えてほしいと話されました。

また、認知症予防とは、ならないように頑張るのではなく、認知症になっても進行を緩やかにするための予防策を立ててほしい。認知症の危険因子は、「加齢」がダントツ。高血圧、肥満、高脂血症、糖尿病などの「生活習慣病」、「運動不足」、「喫煙」、「ウツ」などがあります。講義中、予防に有効な対策として「バランスの良い食事（よく噛む）」「他者とのコミュニケーション」「新しいことに取り組む」「ストレス管理」が脳の活性化を図り、重要だと話されました。よく噛むが入っており嬉しく思いました。

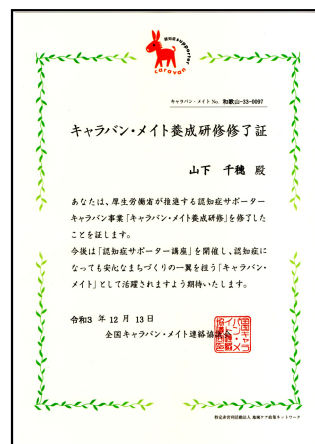
認知症の人への対応では、①驚かせない②急かさない③自尊心を傷つけない に注意する。

具体的には、まずは見守り、余裕をもって、前から優しい口調で声をかけ、相手の言葉に耳を傾けゆっくり対応することが大事であると話されました。

午後は、グループワーク①個人ワーク「あなたが開催する時協力してもらえらる組織はどこだろう？」を自分の地域にある学校や商業施設等を考える②グループワーク「ことぶき老人会」に講座を開催するという仮設定で会場や実施規模、日時設定、研修内容（カリキュラムの組み立て）を討議発表、講師から発表内容についての改善点や注意点も示され、実際講座を開く時の参考にしたいと思いました。

「私の記憶に残るのは、皆さんが何を言ったのかではなく、記憶に残るのはその言い方です。～中略～私たちが繋がるのは感情なのです。」（クリスティー・ブライデン/私は私になっていく）がスライドにありました。赤ちゃんから高齢者まで誰に対してもそうです。感情はすぐに伝わります。自分がいつも余裕の状態であることはあり得ません。そんな時は、少し距離をおいて、別の方に任せることも大切です。協力してくれる周りの資源（人や通いの場、相談窓口）をたくさん作っていきたいと感じた研修でした。

報告者：山下 千穂



DH-KENは
歯科衛生士向けeラーニング



令和3年度 DH-KEN 新コンテンツ公開のご案内

1. 歯科医院の接遇と好感度アップ（令和3年4月15日公開）
2. 在宅歯科医療 実践編（令和3年4月15日公開）
3. 摂食嚥下リハビリテーションを学ぼう！（令和3年7月28日公開）
4. う蝕と歯周病の予防と管理に必要な最新情報（令和3年8月27日公開）
5. 歯科衛生士が知っておくべきくすりの知識（令和3年10月11日公開）

第1回生涯研修会



10月31日(日) 13:00~15:00

演題:「医療安全管理・災害と歯科保健医療のかかわり」

講師: 足立 了平 先生 (医療法人社団関田会 ときわ病院 歯科口腔外科部長)

足立先生は、阪神淡路大震災の実体験を基に、その後の大震災では災害関連死、特に災害後に発生する肺炎を極力無くしたいと、多くの被災地で活動をされています。

災害で助かった命が避難生活の中で亡くなるのは、絶対に防がなければならないと思いました。

これからの災害支援においては、多職種連携が必須であり、また口腔に問題がある方には、一人ひとりのニーズに合った支援が必要になるので、いざという時にいつでも支援に向かえるようスキルアップを目指します!

後半は、新型コロナウイルス感染に対する対策についてもご講演いただき、とても有意義な研修会になりました。

第2回生涯研修会



12月12日(日) 13:00~16:00

演題:「歯科衛生士のための最新予防歯科」

講師: 天野 敦雄 先生 (大阪大学大学院歯学研究科 予防歯科学教室 教授)

う蝕の最新病因論では、う蝕誘発成分や予防方法について、また、歯周病の最新病因論では、レッドコンプレックスやタバコの怖さを学びました。

患者さんの口腔内を診る時は、バイオフィルムの病原性を見分け、病原性違いに合わせた指導を行うことを詳しく教えていただきました。更に、歯周治療のテクニックや、根面齧蝕について、歯周病の新分類、歯科医院のシステムづくりなど、たくさんご講演いただき、知識のアップデートができました。

歯科衛生士の仕事は、発症を「防ぎ」健康な状態を「守る」ことであり、先生は何度もお話下さいました。患者さんのお口の健康と責任を持って管理する「マイハイジニスト」になれるよう、知識、技術、会話力、信頼力を身に付けられるよう、研鑽を積み重ねなければならないと思いました。

口腔機能管理勉強会ベーシックコース①

10月2日(土) 15:00~17:00

口腔機能管理勉強会ベーシックコース①を開催しました。

講演①「介護保険を知らう

～多職種連携・チームケアのポイント～」

講師 加藤 恭子 先生

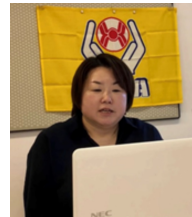
令和3年度介護保険報酬改定や、口腔に関するサービスの内容について、チームケアのポイントなどについて詳細に講演下さいました。

歯科衛生士は、高齢者の支援において、介護予防の段階から終末期まで全ての時期に必要な職種であって、今後益々高齢者が増えると、より必要な職種になります。今回学んだ事を活かせるようにしたいと思います。

講演②「感染症対策～基本知識と対策～」

講師 出水 夏恵 先生

講師の勤務する病院での対策を交えながら、感染に関する様々な情報提供をしていただきました。新型コロナウイルス感染症の第6波が来るであろう冬に向けて、感染対策を再確認しなければならないと思いました。



口腔機能管理勉強会アドバンスコース②

11月20日(土) 19:30~21:30

口腔機能管理勉強会アドバンスコース②を開催しました。

演題「みんなで考えよう口腔機能管理」

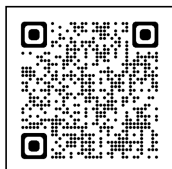
講師 小室 恵子 先生

前半は、今までの復習を兼ねて、口腔ケアを始める前の準備、口腔ケア、口腔機能訓練の基本的な事を再確認しました。

後半は、デモンストレーションを行っていただき、舌を緩らせて動かせる様にするマッサージ方法や、口の周りのマッサージ方法を学びました。また、受講者の色々な質問に詳しくデモンストレーションを交えて答えて下さいました。受講者の意見も交えながら、ディスカッションを行いました。とても有意義な勉強会になりました。



和歌山県歯科衛生士会 入会のご案内



和歌山県歯科衛生士会は昭和49年に設立されました。本会事務局は、和歌山県歯科医師会館内にあります。

一般社団法人 和歌山県歯科衛生士会に入会ご希望の方は、下記の日本歯科衛生士会ホームページからお申込みいただくか、和歌山県歯科衛生士会のメールアドレスに、①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④連絡先の電話番号 をお知らせいただければ、入会申込書をお送りいたします。なお、当会の会員は歯科衛生士免許を有する方に限らせていただいております。